



## あなたのまちの**宝物**は何ですか？

今号からシリーズ（全3回）でお伝えする「地域資源を活かしたまちづくり」。

第1回は、六郷の宝物である、清水を活かしたまちづくりに取り組んでいる秋田県美郷町（旧六郷町）をご紹介します。

この機会に、あなたのまちの宝物（地域資源）は何か、見つめなおして見てはいかがでしょうか？

## 清水と共に生きるまち～六郷～



イメージキャラクターの「ユウちゃん」だよ！

米どころであり酒どころでもある秋田県。日本酒の消費量は日本一！自らつくり、自ら飲む・・・まさしく地産地消ですね(^-^)

おいしいお米においしいお酒。この2つに共通しているものは・・・お水ですね！！おいしいお水なくして、お米もお酒もつくれません！

六郷は、県内でも特に清水の里として知られ、古くからそこに住む人々の生活の中に存在しています。市街地のどこでも地下水が流れているため、今でも上水道が無いんだとか。

そんな「六郷湧水群」は1985年1月5日、旧環境庁の名水百選に選ばれました。この他、「水の里百選」や「水源の森百選」などさまざまな百選に認定されています。「六郷湧水群」の特徴は、人々と生活をともにし、守られながら育ってきた水だということ。どこの清水に行ってもきれいなんです。山の中のきれいな湧水より貴重な感じがしませんか？

### ニテコ清水

アイヌ語のニタイ（森林）、コツ（水たまり）からこの名が付けられたとか。また、明治天皇御巡幸の時、この水を差し上げたことから「御善水」とも言われています。



### 六郷湧水群

案内看板のイラストや文字は統一されています。良い目印になりますよね！



次は、「藤清水」へ行ってみよう！！



### 六郷一里塚



### 寺町通り

10以上のお寺が通りの片側に並んでいます！

## 藤清水

昔は近くに3つの倉があり三倉清水とも呼ばれていました。今は、藤の花の見事さから藤清水と呼ばれています。



アジサイも  
キレイだな  
あ。。。

## 舟っこ流し会場

“舟っこ流し”は、御伊勢堂川に笹竹や短冊に彩られた海舟を浮かべてひく涼しげなお祭です。300年も続いている子どもたちの七夕行事。



## 路上の案内表示

まちなかの路上には、案内表示などがいたるところに設置されています。これなら迷うことなくまち歩きできますね！



今号の問題です！

われらが福島県にも名水百選に選ばれているところが2箇所あります。さて、それはどこでしょう？

ヒント：地元の酒造りの仕込み水としても使われている磐梯町の“湧水群”と、百貫の価にも換ふべからず」とたたえられた北塩原村の“湧水”。

夏は涼みに、秋は紅葉がきれいでしょうねえ！

前号の問題の答え（ の中が答えです）

常滑は、瀬戸、信楽、越前、丹波、備前と並び、日本六古窯のひとつとされ、中でも最も古く最大の規模とされています。

## 六郷の六自慢（出典：六郷まちづくり株式会社ホームページより）

- その1．六郷は水道料金ゼロ。使い放題で、その水は夏冷たく、冬暖かい天然ミネラルウォーター
- その2．六郷の清水は美肌水。三日も風呂に入れば抜けるように白くなる。
- その3．六郷の清水はおいしい水。炊いたお米はおいしくて、噛めば噛むほど味がある。この水で淹れたお茶を一度飲むとほかでは飲めません。
- その4．六郷はおいしい町。新鮮な野菜がすぐ手に入る。とくにそれぞれ家自慢の手作りガッコ（おつけもの）がおふくろの味。
- その5．六郷の清水は命の水。氷河時代からの魚 を今も育む。
- その6．六郷の清水は出逢いの水。清水に集い、清水で語り、清水を守って生きてきた。もちろんこれからも。

氷河期の生き残りの「イバラトミヨ」（淡水魚）。

年間を通して水温 10～15 で清らかな沼や川にしか住めないイバラトミヨは、環境省や秋田県が絶滅危惧種に指定しています。

次号「地域資源を活かしたまちづくり」は、山形県金山町での取り組み「地場資材を活かしたまちづくり」をご紹介します。お楽しみに！



～来てみて歩いてみっせ～  
まちなか探検・こおりやま！



## 郡山のまちの魅力を再発見！

# 「歩いて暮らせるまちづくり社会実験」が

いよいよ始まります(^-^)/



福島県では、「車中心のまち・社会」から、「人と車が共生するまち」「人と人がふれあうまち」「賑わいのあるまち」への転換を目指しています。

今回の社会実験では、これら3つの目標を視野に入れ、まちなかに仮想空間を創り出します。

是非、この機会に、いつもとは違った郡山のまちなかを探検してみたいはいかがですか？

**開催期間** 平成 18 年 9 月 23 日から  
10 月 15 日まで  
平成 18 年 10 月 28 日から  
11 月 5 日まで

### お得情報

期間中は、お得な事がいっぱいです！

#### まちなか循環バス運行

歩行者が多い通りに  
『まちなか循環バス』  
を無料で運行します。



#### パークアンドバスライドバス運行

郡山のまちなかから、おおむね 3km 圏内外にパークアンドバスライド駐車場を設置し、これらを無料の直通バスで結びます。

#### バスチケット配布

実験参加店で買い物をすると金額に応じてバス回数券がもらえます。

#### ベビーカー、ウォーキングステッキ、自転車のレンタル

まちなか総合案内所で借りることができます。



詳しい情報は、歩いて暮らせるまちづくり PR サイトをご覧ください。

URL <http://www.pref.fukushima.jp/machidukuri/kouriyama/aruite.htm>

お問合せ先 県庁商業まちづくりグループふくしまの新しいまちづくりチーム  
〔郡山歩いて暮らせるまちづくり社会実験事務局〕

TEL 024-521-7916 FAX 024-521-8886



## トピックス

# 平成18年度「まちづくり推進講座」受講生を募集しています！！

今年度は、開催地となる須賀川でまちづくり活動をされている方々“土の人”と、受講生“風の人”が、実際のまちの課題やまちづくりの悩みを共有し、その解決策と実現のための提案作成をとおしてまちづくりの実践力を身に付けていく連続4回講座です。

最終回では、提案発表の後に、提案を基にした参加者全員による討論会を行い、まちづくりの実践の理解を深めていきます。

舞台となるのは、福島県のほぼ中心部に位置する人口8万人の須賀川市です。まちづくり活動が行われてきた地区を選んで、講座で取り組む3つのまちづくりテーマを設定しました。

- テーマ1 玄関口の顔づくり - 北町地区 -
- テーマ2 そぞろ歩きのできるまち - 中心地区 -
- テーマ3 「あん」みつつのまちづくり - 南部地区 -

講座の概要(詳細は[まちづくり推進グループのホームページ](#)をご覧ください)

開 講	第1回	まち育ての極意	10/17(火)	13~17時
日 時	第2回	検証・考察！まち育て	10/31(火)	10~17時
	第3回	まち育て知恵結集	11/ 7(火)	10~17時
	第4回	まち育て討論会	11/12(日)	13~17時

連続4回講座です。

受講料 **無料**(全4回とも)

会 場 講義:須賀川市中央公民館 1階ホール  
野外学習:須賀川市街地

受講生募集期間

平成18年8月30日(水)~10月3日(火)

応募やお問い合わせはまちづくり推進グループへ！！

## 編集者ひとりごと

残暑が厳しい日が続いていましたが、近頃、すっかり秋らしくなってきましたね！秋といえばみなさんは何を思い浮かべますか？読書の秋、スポーツの秋、芸術の秋、食欲の秋・・・夏バテに苦しんだ人もそうでない人も、もりもり食べてやがてやってくる寒い冬に備えましょう(^-^)

## 編集後記

「うつくしま、まちづくり推進レポート」(Vol.23)はいかがでしたでしょうか？これから皆様と一緒に、より充実したものにしていきたいと思っておりますので、取り上げてほしい事例や写真、ご意見・ご感想などございましたら遠慮なくお寄せ下さい。

メールマガジン(無料)の申し込みをご希望される方は、  
1. 団体会社名、2. 氏名、3. メールアドレス、4. 電話番号等(送信エラーの際のご連絡のため)、よろしければ、  
5. 性別、6. 年齢を記入の上、[まちづくり推進グループのメールアドレス](#)まで希望する旨ご連絡下さい。

登録された方には、レポートの更新情報などをメールにてご案内いたします。

### 【発行元】

福島県土木部都市領域まちづくり推進グループ  
〒960-8670(住所記載不要)

TEL 024-521-7510

FAX 024-521-7956

e-mail [machizukuri@pref.fukushima.jp](mailto:machizukuri@pref.fukushima.jp)

URL <http://www.pref.fukushima.jp/machi/>

